

「市広報みやざき」リニューアル!

もっと市民の皆さんのために。『市広報みやざき』が生まれ変わりました



市広報みやざきは昭和24年6月の創刊後、市職員が取材や編集を行いながら、846号を発行してきました。これからは、市と民間事業者が協働し、民間の技術やノウハウを生かして、さらに充実した情報を発信していきます。

新しい広報紙では「全世代をつなぐ情報紙」をテーマに、若い人からお年寄りまで楽しみながら読んでもらえるよう、分かりやすい紙面づくりを目指します。また、これまでの広報紙にはなかった新しい企画もありますので、お楽しみに!

『市広報みやざき』リニューアルに際して

市民の皆さんに役立つ情報をさらに見やすくお届けしたい、地域の情報を共有することで絆づくりに役立てていただきたいと思い、全面リニューアルを行いました。ぜひとも、新しくなった「市広報みやざき」をご覧ください、ご家庭や地域の皆さんで活用してください。



宮崎市長 戸敷正

Miyazaki Topics

宮崎市 “みやとピ” 旬の話題



高速新時代の幕開けです!

東九州自動車道の延岡～宮崎間がついに開通しました。同区間の所要時間は約85分と、これまでより約1時間も短縮されます。3月16日(日)の記念イベントでは、開通の15時に合わせて一斉にカウントダウンを実施し、開通を祝いました。さらに、4月1日には高速バスも運行を開始。今後、観光や産業など各分野で、高速道路を生かした取り組みが進められます。

中心市街地を盛り上げました!



3月22日(土)、市の観光イメージキャラクター「ミッシちゃん」が、市消防団音楽隊とともに若草通りで開催中の「街市」に突如登場。猛特訓していたピアノの演奏を初めて披露しました。何の前触れもなく始まったサプライズ演奏とミッシちゃんの腕前に、訪れていた皆さんは驚きの表情で、演奏に聞き入っていました。

宮崎産の牛を全国へ

3月10日(月)、大瀬町に敷地面積約2万ヘクタールの子牛預かり施設「キャトルステーション」が完成。子牛繁殖の活性化を図るこのキャトルでは、宮崎市内の繁殖農家から預かった子牛を300頭育てることが出来ます。ブランド牛の産地「宮崎」から、多くの子牛が県内外へ羽ばたいていくことが期待されます。



[写真/橋橋]

宮崎市制90周年記念
みやざきタイムマシン

橋橋

1915年(大正4年)



現在の橋橋

宮崎市が宮崎郡宮崎町、大淀町および大宮村の廃置分合を行い、市制を施行したのは大正13年のことで、写真はそれよりも少し前の風景です。この橋は、明治13年に完成した初代から数えて四代目。幾度も豪雨によって流失し、そのたび架け直されてきた橋橋の、最後となる木橋です。当時の人口は約4万人。運行を始めたばかりの鉄道にはまだ未完成区間があり、馬車で連絡していたことから、市街地は大変のどかなものであったと思われまます。

橋橋や大淀川が織りなす美しい風景は、文豪・川端康成氏もいたく気に入り、小説「たまゆら」の誕生にもつながりました。宮崎市の宝物として、いつまでもこの景観を守りたいものです。